

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市型ビジネスの立地促進				整理番号	132		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503	連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	119	
係名		アニメ・新産業係			上位施策名				No		
予算事業名		みどりの産業の振興		コード	17500	新しい産業の育成・支援				44	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 杉並区産業振興計画 (3)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 みどりの産業の分野で創業を予定している個人、もしくは法人、または、創業後3年未満の個人、法人。起業に興味のある中高生。										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 創業を予定している方に対し、SOHO事務所を貸す。 創業を予定している方に対し、セミナーを開催することで基礎的な知識や情報を提供する。 創業に興味のある中高校生を対象に講座を開催し、将来起業する意識を育む。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 杉並区内で創業、起業したいという気運を高めることにより、都市型ビジネス事業所の開設を促し活気あふれるまちづくりに貢献する。						
	活動指標名(式) (1) 入居事業所数 (2) セミナー参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入居して事業活動を行っている事業所数 (2) 創業、起業数						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		所	0	9	9	8	9			
	活動指標(2)		人	80	46	90	197	220			
	成果指標(1)		所	0	9	9	8	9			
	成果指標(2)		件	5,327	5,327	6,327	5,327	6,327			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	118	29,188	13,608	7,537	13,891	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(2)の創業、起業数は、事業所統計調査が5年に1回のため、昨年度と同様。新たな数値は来年度にわかる。		
	(内)委託費		千円		0	0	3,000	3,000			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.84	0.70	1.03	1.03			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	899	7,555	6,296	9,264	9,264			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	1,017	36,743	19,904	16,801	23,155			
	単位あたりコスト ÷		円		4,082,556	2,211,556	2,100,125	2,572,778			
	財源	受益者負担分		千円		519					
		国・都等からの支出金		千円		21,032					
		特定財源計 +		千円	0	21,551	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	1,017	15,192	19,904	16,801	23,155				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	88.9	活動指標(2)の15年度達成率%	218.9	15年度予算執行率%	55.4				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件および施設内の情報通信環境も高く入居者からも好評である。入居者の事業分野は異なっているが、それぞれの特徴を結ぶネットワークができつつある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	創業セミナーは、受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容を望んでいる。
	今後の予測	景気が回復傾向のため、創業・起業をしたい人は増えると思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 創業・起業をしたい人が決断する際のきっかけとなる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: コミュニティビジネスセミナーを阿佐谷キック・オフ/オフィスに入居している事業者へ委託している。事業者の持っているノウハウ、ネットワークを活かし、より効果的なセミナーを行う。 また、中高生起業家セミナーは、NPOと協働で行っており、16年度からはさらに向陽中学校、天沼中学校とも協力し、選択社会科学目の授業として開催する予定である。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 中高生起業家セミナーは、これまでの公募形式をやめ、中学・高校、NPOとの連携により授業に組み入れることで、現在の事業費でも成果があがると考えている。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すでに適正な応分負担をお願いしている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の経費は、講師謝礼などの人件費が主となっている。このため、コストを抑えるのは困難である。予算の中で内容の充実を図っていきたい。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 創業関係のセミナーは、女性のための起業セミナーなどを男女平等推進センターで、また、高齢者のための起業セミナーを高齢者施策課で行っている。また、東京商工会議所や(財)東京都中小企業振興公社などでも同様の講座を開催している。そのため、杉並区主催のセミナーを見直すとともに、他の団体の起業セミナー内容を調査し、起業セミナーの内容を見直す必要がある。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 創業関係のセミナーを見直し、さらに効果的な講座を開催するには、今後NPOとの協働をはかる必要があると思われるが、その講座に適したノウハウをもつNPOを見つけ出し、連携をしていくことが重要な課題である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現在実施しているSOHO事業所の貸出事業、コミュニティビジネスセミナー、創業セミナー、中高生起業家セミナーについては、現状の予算規模の中で、内容を見直し、NPO団体等と連携を図りながら実施していく予定。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(アニメイベント)				整理番号	134		枝番号					
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	122			
係名					アニメ・新産業係			上位施策名		No				
予算事業名					アニメの杜すぎなみ		コード	17700		新しい産業の育成・支援		44		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)							
	区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある方				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
アニメ産業の発展・支援のため、日本のアニメーション作品、技術の保存、提供、研究などの課題についてのシンポジウム開催 区内アニメ事業者のPR支援 アニメ専門学校紹介事業 アニメ作品上映 アニメーションの理解を深めるための子ども向けのワークショップ等に取り組む。				杉並区域の産業資源であるアニメーションを題材としたフェスティバルを開催し、アニメーション産業の振興及び地域住民の多くの人々にアニメーションに親しみ、理解を深めてもらう機会を提供することを目的に実施する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 区内アニメスタジオ数				(1) 東京におけるアニメスタジオ集積率 (区内のアニメスタジオ数) ÷ (都内のアニメスタジオ数)										
(2) アニメフェスティバル来場者数				(2)										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		19年度							
指標	活動指標(1)	社		62	62	62	68	70	88.6					
	活動指標(2)	人		8,238	10,000	8,850	10,000							
	成果指標(1)	%		25	25	25	28	30	83.3					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		6,364	8,000	7,128	8,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円		0	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人		1.26	1.30	1.61	1.61						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	11,332	11,692	14,480	14,480						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	0	17,696	19,692	21,608	22,480						
	単位あたりコスト ÷		円		285,419	317,613	348,516	330,588						
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0			0			
		国・都等からの支出金		千円		2,053	0	0			0			
		特定財源計 +		千円	0	2,053	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	0	15,643	19,692	21,608	22,480							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	88.5	15年度予算執行率%	89.1							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度に第1回アニメーションフェスティバルを開催し、昨年度までに3回開催してきたが、アニメーション産業の支援・情報発信・普及啓発に貢献を果たしてきた。今年度、アニメ資料館を拡充し、日本動画協会に運営を委託することになったので、今まで以上に多くの情報を発信していくことができるようになる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	アニメーションフェスティバルや小学校の土曜日学校等で、パラパラアニメやクレイアニメのワークショップに対する参加も多く、アニメーション制作を体験したいという要望が多い。
	今後の予測	杉並区のアニメーションフェスティバル開催以来、東京都を始め、練馬区や武蔵野市等周辺地域でも開催するようになった。今後は、各市区が連携して開催することにより、「世界一のアニメ産業集積地」であることをPRすることができる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 今年で4回目を迎えるアニメーションフェスティバルは、アニメーション産業のPR・アニメの普及に大きな貢献をしてきた。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^) ▼ 協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼ 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) ▼ 協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容) ▼	理由: 理由または具体的内容: 区内の中小アニメスタジオが加盟している杉並アニメ振興協議会や東京商工会議所杉並支部、区内のアニメ専門学校等が実行委員会に参加している。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) ▼ 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 練馬区や三鷹市、武蔵野市等と連携して開催することにより、より多くの人にアニメ産業をPRすることができる。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 現在は、入場料を無料で開催しているが、有料化の方向で検討していく。
	(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 練馬区や三鷹市、武蔵野市等と連携して開催することにより、事業内容の重複を避けることができる。

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	成果: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	協働等: ○ 実施継続 ● 推進 ○ 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在は、区が主体となり、杉並アニメ振興協議会の協力を得て実施しているが、今後は、アニメ資料館の運営を委託することになる日本動画協会やアニメーション協会、アニメーション学会等との連携を充実させ、団体主体の事業とする。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 アニメ制作会社は、本来の業務時間的にも余裕が無く、フェスティバルなどの事業に割く時間が取れない状況である。今後は、フェスティバルのプロデュースを担当したアニメーターに費用弁償する等参加意欲を持たせることが必要である。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし		
	(2) 理由	杉並アニメ資料館を拡充し、その運営を日本動画協会に委託するため、従来のように杉並アニメ振興協議会だけではなく、日本動画協会とも連携して実施する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(人材育成)				整理番号	135		枝番号					
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	122				
係名					アニメ・新産業係		上位施策名		No					
予算事業名					アニメの杜すぎなみ		コード	17700		新しい産業の育成・支援	44			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		14年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並アニメ振興協議会加盟スタジオで、実習形式の研修(6ヶ月間)を行う。 アニメーターのレベルアップを図るため、講演会等を実施 アニメーターを目指す人を対象に、動画を中心にアニメ制作の技術を磨くための「アニメ匠塾」を開講。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	活動指標名(式)				(1) 研修生一人あたり費用 (2) 研修生受入れ数								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 研修修了者の内実際にアニメスタジオに就職した人の割合 (2)	
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績	計画	19年度						
指標	活動指標(1)		千円		720	400	440	400	300	146.7				
	活動指標(2)		人		4	8	6	8	10	60.0				
	成果指標(1)		%		75	90	83	90	90	92.2				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		3,573	4,000	2,643	4,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円		3,560	4,000	2,643	4,000						
	職員数(正規 非常勤)		人		0.85	0.85	0.50	0.50						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	7,645	7,645	4,497	4,497						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	0	11,218	11,645	7,140	8,497						
	単位あたりコスト ÷		円		15,581	29,113	16,227	21,243						
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0			0			
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0			0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	0	11,218	11,645	7,140	8,497							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	110.0	活動指標(2)の15年度達成率%	75.0	15年度予算執行率%	66.1						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度は研修生4名(3名が就職)、昨年度は研修生6名(5名が終了)した。平成16年度は、定員8名に対し、36名の応募があった。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	マスコミが、日本のアニメーターの生活環境が悪く、人材が不足し空洞化が進んでいる実態とともに、杉並区が人材育成に力を入れていることが取り上げられ、一般の人にも知られるようになってきた。このことにより、区民等から「杉並アニメ匠塾」に対する応援の声が多く寄せられるようになってきた。
	今後の予測	今後、ますます日本のアニメーター不足が加速していくことが予想される。そのため、優秀なアニメーターの育成が業界として大きな課題となっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: デジタル化が進む中、アニメ業界全体としても、作画部門の人材が不足している。しかし、アニメ制作会社は中小企業が多く、余裕が無いので、区の支援が必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^) ▼	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^) ▼	理由または具体的内容: 杉並アニメ振興協議会に研修生の指導を委託している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) ▼	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容) ▼	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼	理由または具体的内容: 現在は杉並アニメ振興協議会に委託しているため、受入れスタジオを増やすことは難しいが、今後は、日本動画協会との連携も強くなるため、振興協議会加盟スタジオ以外にも含める形での展開ができれば、研修生の定員を増やすこともできる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 現在のようなスタジオでの研修だけでなく、講演会等の機会を増やすなどカリキュラムの充実を図ることにより、研修参加費を徴収することも可能となる。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 現行予算で受入れ研修生を増やすことにより、一人あたりのコストを下げることは可能。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: ○増 ●現状維持 ○減	成果: ●増 ○現状維持 ○減	協働等: ○実施継続 ●推進 ○行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在は、杉並アニメ振興協議会に指導を委託しているが、今後は、日本動画協会等とも連携をとることにより、定員を増やして		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在のように、杉並アニメ振興協議会加盟スタジオだけでなく、より多くのスタジオで受け入れてもらえるように交渉を進める。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	○大幅増 ○増 ●増減なし ○減 ○大幅減 ○予算なし	
	(2) 理由 杉並アニメ資料館を拡充し、「杉並アニメーションミュージアム」として、リニューアルし、その運営を日本動画協会に委託するため、従来のように杉並アニメ振興協議会だけではなく、日本動画協会とも連携して実施することにより、現行予算で研修生を増やすように交渉を図る。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメ資料収集・展示				整理番号	136	枝番号	
担当部課名	区民生活部産業振興課	コード	051501	連絡先電話番号	3078	昨年度整理番号			
係名	アニメ・新産業係	上位施策名			No				
予算事業名	アニメの杜すぎなみ	コード	17700	新しい産業の育成・支援			44		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			(1)				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2)				
	区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある人				(3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） アニメ制作のデジタル化の進行などによって失われつつある貴重なアニメーション作品のセル画、背景、絵コンテ等の資料や撮影台、トレース作業机等のアナログ機器を区内スタジオ等から収集し、保管・展示する。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区内の小学生をはじめ、多くの人々が来場し、アニメーションの制作工程や歴史を知るとともに、アニメ産業に対する理解を深めてもらう機会を提供する。				
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 年間来場者数				(1) 一日あたり来場者数					
(2) 開館日数				(2)					
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%
					計画	実績		19年度	
	活動指標(1)	人			5,000	5,246	1,250	60,000	8.7
	活動指標(2)	日			308	308	129	308	100.0
成果指標(1)	%			16	17	116	200	8.5	
成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			26,573	11,525	84,250	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 現在、アニメ資料館は、拡充に向け改修を行っているため、3月の開館1ヵ月間の来館者数を活動指標として掲載する。	
	(内)委託費	千円			19,526	6,017	84,250		
	職員数(正規 非常勤)	人			0.60	0.50	0.50		
	人件費	千円	0	0	5,396	4,497	4,497		
	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	31,969	16,022	88,747		
	単位あたりコスト ÷	円			6,394	3,054	70,998		
	財源	千円							
	受益者負担分	千円			0	0	0		
国・都等からの支出金	千円			0	0	0			
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	0	0	31,969	16,022	88,747			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	104.9	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	43.4		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月1日に、アニメーションの文化及び産業の振興を図るため、「杉並アニメ資料館」を設置したが、杉並区アニメーション振興の核となる施設として拡充する。 また、東京都が日本動画協会に委託し、アニメ関係の資料を中野新橋の「東京都労働資料センター」に収集している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	セルアニメ時代の機材やセル画、絵コンテ等が制作工程に沿って展示してあるので、わかりやすいとの感想が多かった。しかしながら、規模が小さい、アニメ体験できるものがあった方がいい等の意見もあった。
	今後の予測	アニメ全体の歴史や制作工程、デジタルワークショップなどを配列し、順序だててアニメについて学び、体験し、理解できる施設となる。また、日本動画協会に運営を委託することで、アニメ産業の情報発信基地としての機能をもつようになる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 杉並区がアニメ資料館を開館し、セルアニメ時代の資料や機材の収集を開始したが、東京都も、日本動画協会の協力を得て、同様な資料の収集を開始するなど、アーカイブの必要性が認知されてきた。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^) ▼	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼	理由または具体的内容: アニメ資料館の運営を日本動画協会に委託することになった。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) ▼	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容) ▼	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) ▼	理由または具体的内容: アニメ資料館の運営を日本動画協会に委託することで、民間のノウハウや経験の有効活用を図ることができる。また、複雑な著作権調整の処理がスムーズにできるようになる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 現在は無料であるが、拡充後は、入場料を徴収する(郷土資料館程度)	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: セルアニメ時代の機材や資料の収集を続けていくと、膨大なスペースが必要となる。そこで、対象をベテランクリエイターの証言等のデジタル映像ライブラリーを中心に収集することで、スペースを広げる必要がなくなる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 東京都が日本動画協会の協力の下、セル画、絵コンテ、原画等の資料類の収集を始めた。杉並区としては、ベテランアニメクリエイター等アニメーションに携わっている様々なスタッフに歴史や現状、アニメーションへの思いを語ってもらい、それを映像として記録・保存をしていくことで、今後の人材育成や研究に役立てていく。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 証言してもらいたいクリエイターの多くが高齢のため、時間的にも余裕が無い。今後、日本動画協会やアニメーション協会、アニメーション学会等と連携することにより進めていく。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 16年度は、アニメ資料館拡充装飾工事委託費を予算計上していたが、17年度以降は、運営委託費のみとなるため減となる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並アニメ振興戦略会議				整理番号	137		枝番号		
担当部課名	区民生活部産業振興課			コード	051503	連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号		
係名	アニメ・新産業係			上位施策名				No			
予算事業名	アニメの杜すぎなみ			コード	17700	新しい産業の育成・支援			44		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 学識経験者、アニメ産業関係者、経済産業省職員				(2)						
	学識経験者、アニメ産業関係者、経済産業省職員				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 杉並区におけるアニメーション産業の発展支援に向けた計画の推進と「アニメーションアーカイブに関する提言」の具体化への方策を示すために設置し、提言をまとめる。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 杉並区産業振興計画の推進と「アニメーションアーカイブに関する提言」の具体化への方策を示す。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 会議開催数				(1) 提言された課題の数							
(2)				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回			3	3				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		個			3	3				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,620	2,505	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円			2,000	1,995				
	職員数(正規 非常勤)		人			0.50	0.50	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	4,497	4,497	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	7,117	7,002	0			
	単位あたりコスト ÷		円			2,372,333	2,334,000				
	財源	受益者負担分		千円			0	0			
		国・都等からの支出金		千円			0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	7,117	7,002	0				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	95.6				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月に「杉並アニメ資料館」を開館したが、展示室のみのスペースしかなく、収集保管庫は満杯の状態である。そのため、「杉並アニメ資料館」の拡充が求められた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	アニメーション産業振興の具体化への期待が大きい。
	今後の予測	今回の提言を受けて、「杉並アニメ資料館」の拡充を進める。その後は、「杉並アニメ資料館」を核とした観光ルートの整備を進めていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: アニメーション産業振興について、「杉並アニメ資料館の拡充」「アニメーション・センターの杉並区への誘致」「アニメーションをもとにした観光」の3点について提案された。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: アニメーション産業関係者、大学等の研究機関、経済産業省等と連携し、産学連携会議として開催した。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 政策提案(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 杉並アニメ振興戦略会議は、事業実施組織ではなく、成果を追求する組織でもない。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区の施策に対して、提言をもらう諮問機関であり、受益者の概念にはあたらない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 平成15年度に単年度的に開催したものであり、毎年開催するものではない。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理 由			